

芝地区版計画書（素案）に寄せられた区民意見に対する区の考え方

1 意見数

	件数
(1) 区民意見募集（郵送、インターネット等）により寄せられた意見 募集期間：令和5年11月11日～12月11日 人 数：6人（うち持参2人、郵便1人、インターネット3人）	9件
(2) 区民説明会での参加者意見 開 催 日：令和5年11月19日・22日 人 数：23人	10件
(3) 区民参画組織での会議での参加者意見 開 催 日：令和5年11月16日	7件
計	26件

※ 港区基本計画（素案）及び地区版計画書（素案）は、合同で区民説明会を実施しました。

※ 件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

2 意見への対応状況

対応状況		件数	区民意見募集	区民説明会	区民参画組織
1	意見を反映し、計画素案を修正したもの	1件	0件	1件	0件
2	計画素案の記載の中で趣旨を反映しているもの	13件	2件	8件	3件
3	計画素案では記述していないが、既存事業等で対応しているもの	10件	5件	1件	4件
4	意見の内容が対応できないもの	0件	0件	0件	0件
5	区政に対する要望等として受けたもの	2件	2件	0件	0件
計		26件	9件	10件	7件

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方等	対応状況
				部	課		
1	I かがやくまち	今後、大きな災害の発生が予想されているため、区役所と総合支所の体制強化を検討する必要がある。	持参	芝地区総合支所 防災危機管理室	協働推進課 防災課	区は、地震の規模等に応じて、区内や近隣区などに居住する職員が災害時に直ちに災害対策本部や災害対策地区本部に参集できるよう、それぞれ非常配備態勢の職員として任命しております。 夜間・休日等の発災時には、災害対策住宅居住職員が直ちに参集し、地域防災協議会と協力して避難所の開設等を行う態勢を確保しております。入居者には、地域住民として、防災訓練等の地域活動に積極的に参加することを促しています。また、災害対策住宅に住む職員等を中心に、新たに構築する地域災害情報システムを活用し、災害対策本部の設置や被害情報の収集などの訓練を実施し、初動態勢や災害応急対策に関する業務遂行能力の向上を図っています。 今後も区の職員が積極的に地域の一員として災害時に行動できるように努め、発災時に主体的な初動対応ができるよう取り組むことで、区の発災時の体制強化に努めてまいります。	2
2	I かがやくまち	食品トレイや牛乳パックなどのリサイクルゴミの回収場所が商店会の店にない。衣類などを含めてリサイクルスポットがあれば、住民が商店会の店に行く機会が増え、活性化につながるのでは。	インターネット	芝地区総合支所 環境リサイクル支援部	協働推進課 みなとリサイクル清掃事務所	新計画では、取組内容の変更もあるため、予算の金額の変更は、実施内容の変更のためである。金額の減額は、活動の縮小ということではない。	5
3	I かがやくまち	給餌について条例が改正されたが、芝五丁目交差点での鳩への給餌がやめられておらず、鳩が大量にいる状態が続いている。厳しい罰則を設けて警察官が注意するようにしてほしい。	インターネット	芝地区総合支所 環境リサイクル支援部	協働推進課 環境課	悪影響を生じさせる給餌については、今後も警察と連携し、条例に基づいて適切に粘り強く指導を行ってまいります。	3
4	I かがやくまち	観光や工事、働くために区を訪れる人が歩きタバコやタバコのポイ捨てをする様子を日常的に見る。事業者への働きかけや小学校、保育園、公園があるエリアでの禁止など、周知方法の工夫が必要である。	インターネット	芝地区総合支所 環境リサイクル支援部	協働推進課 環境課	観光客や工事事業者等の来街者に対し、積極的に声掛けや指導を行うことにより、みなとタバコルールの周知を図ります。 学校や保育園等については、分かりやすく目につく内容の看板等を設置する等、周知方法を工夫します。	2
5	II にぎわうまち	ご近所イノベーション学校は、来訪者を限定せず、小学生や中学生、高校生が社会経験を学べる場として活動を進めるのはどうか。例えば学校などに働きかけて、港区の子どもたちが社会との接点をもつきっかけの場として機能させるのはどうか。	インターネット	芝地区総合支所	協働推進課	ご近所イノベーション学校で実施している「ご近所イノバタ養成講座」は、講座をとおして地域コミュニティを活性化し、人と人、組織と組織をつなぐことができる「人財」の養成を目的としており、受講者に年齢制限はありません。過去に高校生が受講していたこともあります。 町会等の地域団体との連携などを視野に、長期的な地域コミュニティの活性化と定着を図るため、地域の高校生が活躍できることは喜ばしい事であり、学校側への事業周知を検討していきます。 また、小中学生が社会を学べる場として、トレジャー☆スクールにおける学習講座もありますので、ご検討下さい。	3

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方等	対応状況
				部	課		
6	Ⅱ にぎわうまち	事情により経営店が倒産後、駐車場が作られる。駐車場ではなく1ヶ所だけでも居場所の検討をしてほしい。	持参	芝地区総合支所	協働推進課	芝地区内には、コミュニティづくりの拠点として、子ども、大人から高齢者まで世代も目的も問わず、誰もが気軽に立ち寄ることができる居場所として「芝の家」、「ご近所ラボ新橋」の2か所の地域交流拠点を設置・運営しています。まずは、上記の利用を検討していただきたいと思います。地域交流拠点を増やすことは計画していませんが、利用人数が大きく増えるなど、現状の2拠点では機能が不十分な状態になれば、芝地区内のバランスも考慮した上で、設置を検討していきたいと考えています。	3
7	Ⅲ はぐくむまち	トレジャー☆スクール～芝体験学習～は、人数や年齢制限があり有効に活用できない。異年齢が関わる機会創出にも繋がるので、2歳児からの未就学児も対象にしてほしい。	インターネット	芝地区総合支所	協働推進課	自然体験では、畑や海の状況や気候に関する学習、環境に係るクイズなどを行っており、安全面も考慮した上で、事業による学習効果が高い年齢層として小学生、中学生を対象としています。また、参加人数は、移動手段として利用しているバスの定員や、受入側の体制にも関わり、増やすことが難しい状況です。令和6年度からは、自然体験以外にも、様々な専門知識を持った区内事業者等との連携により、区内で様々な学習テーマの講座を実施する予定であり、より多くの子どもたちに参加機会を広げていきます。未就学児に関しては、子どもの成長に合わせて、対象となる事業に参加いただきたいと考えていますが、連携先の区内事業者とも相談しながら、未就学児でも参加できる学習プログラムが組めるか、検討してまいります。異年齢(多世代)の交流機会は、芝BeeBee'sプロジェクトもありますので、ぜひ参加を検討していただきたいと思います。	3
8	地区版計画書全体	地域事業は何を基準にきめているのか?継続、拡充、新規、中止や達成、未達成などのデータは何パーセントが基準か。	郵送	芝地区総合支所	協働推進課	地域が抱える課題を解決するために、地域特性を踏まえた事業内容を計画し、地域事業を実施しています。芝地区では企業や大学との連携、歴史文化施設など地域の魅力を意識した事業が立案され、これまで見直しが図られてきました。また、地域事業は、区民参画組織からの提言を踏まえて、事業内容を見直し、継続・拡充等を判断しています。「継続」は、現計画での取組を基本とし、工夫しながら続けていく事業であり、「拡充」は、新たに取組内容を増やし、それに伴い予算を増額したものなどを対象として判断しました。成果指標の実績値は、令和元年度と令和4年度に実施した区民意識調査の結果をもとにしており、令和元年度の計画策定時に設定した計画目標値に達したか否かで達成・未達成を判断しました。	3
9	地区版計画書全体	地区版計画書(素案)などの見直しは区民の意見に耳を傾けることの重要性で参画、協働が成り立っている。	郵送	芝地区総合支所	協働推進課	地区版計画書の改定にあたっては、計画の前期の成果や今後の方向性について、芝地区の区民参画組織である「芝会議」の中に設置した「地区版計画推進部会」からいただいた提言の反映に最大限努めました。地区版計画書に計上した事業の実施にあたり、「参画と協働」による取組を一層推進し、地域の課題解決と魅力の向上を図っていきます。	5

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方等	対応状況
				部	課		
10	I かがやくまち	昼間に大震災が起こったときに、芝地区には、住んでいる人の10倍もの昼間人口がいるので、どうなってしまうのかと不安に思う。地区版計画書には「防災セミナーの実施」とあるが、文章だけでは分かりにくい。事業者は何をお願いするのか。	区民説明会 (芝)	芝地区総合 支所	協働推進課	事業者向けの防災セミナーでは、主にBCP計画の作成を目指しています。BCPは、いかに業務を継続し、会社が存続できるかという観点で作成するものですが、区民参画組織からの提言を受け、地域全体としての防災力向上を掲げていく視点を今回追加しています。地域と事業者がより協力をして防災・災害対策に取り組むために、地域との関わりや、地域防災協議会の活動を知ってもらうことができるようなセミナー内容にしてまいります。	1
11	I かがやくまち	虎ノ門や竹芝地域の人と話す、まちはきれいで犯罪もなく衛生的で防災もしっかりしているが、人が住んでいないと聞く。こうした傾向が今後さらに進むが、特に芝地区においては、新しい港区の形をつくらざるを得ないのではないか。	区民説明会 (芝)	芝地区総合 支所 街づくり支 援部	協働推進課 都市計画課	港区基本計画・実施計画において、「住民、事業者、行政などがまちの将来像を共有し、誰もが安全で安心して住み続けられるまちづくりに連携して取り組むことが必要」である旨を示しています。「港区まちづくりマスタープラン」では、虎ノ門や竹芝地域を含む芝地区の目標として、「多様な商業・業務機能と住宅との共存」を掲げており、様々な人が住み続けられるまちづくりに取り組んでまいります。	2
12	I かがやくまち	区の職員は区内に居住する人がほとんどいないため生活感がない。そのような状況でどのようにまちづくりを進めていくのか。	区民説明会 (芝)	芝地区総合 支所 街づくり支 援部	まちづくり 課 都市計画課	政策1 施策1の主な取組1「まちの将来像の実現に向けた取組の推進」において、港区まちづくりマスタープランに示すまちの将来像の実現に向け、社会情勢の変化などに応じて、個別計画等を適切に改正するなど、まちづくりの方針等を充実させる旨を示しています。区は、個別計画等の策定や改正の際には、区民向けアンケートや意見交換会を行うなど、区民の意見を十分に聴いた上で、まちの将来像や方針などを示し、運用しています。今後も、区民の意見等を踏まえ、社会情勢の変化や地域のニーズに対応したまちづくりに取り組んでまいります。	2
13	I かがやくまち	田町駅西口駅前地区の開発に当たっては、地下を利用したり、駅と連続化することを計画できないか。家族で食事できるレストランを誘致してほしい。	区民説明会 (芝)	芝地区総合 支所 街づくり支 援部	まちづくり 課 開発指導課	田町駅西口駅前地区では、駅前の交通広場の拡充や交差点改良による交通結節機能の強化、駅とまち、駅と駅を繋ぐ、デッキ・地上・地下での複層のバリアフリーに配慮した歩行者ネットワークを形成することにより、交通利便性が向上するとともに、歩行者の安全性や利便性が向上する計画となっています。また、地区内には店舗が計画されると聞いていますが、誘致する店舗につきましては、駅前や地域のにぎわいを創出するようなものとなるよう事業者を指導・誘導してまいります。	2
14	I かがやくまち	住んでいる人の満足度は高いが、再開発やマンションの建替えにより、高齢者が引っ越して住む場所がない。住み続けることができなくなった人に対する施策はあるか。	区民説明会 (芝)	芝地区総合 支所 街づくり支 援部	協働推進課 住宅課	低額所得者向け住宅については公平・適正に運営するとともに、中堅所得者向け住宅を高齢者向け住宅へ活用することにより、住宅セーフティネットの構築を促進します。また、高齢者民間賃貸住宅入居支援事業により、住み替えが必要な高齢者を支援しています。引き続き、高齢者をはじめ、誰もが住み慣れた地域に住み続けられるよう、住まいに関する必要な支援を行ってまいります。	2

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方等	対応状況
				部	課		
15	I かがやくまち	区民住宅になかなか入れず、実質的な支援にはなっていない。区内に住み続けたいと思っていたのに、区外に転出した人がたくさんいることを知ってもらいたい。そういった人に配慮した計画にしてほしい。	区民説明会(芝)	芝地区総合支所 街づくり支援部	協働推進課 住宅課	低額所得者向け住宅については、公平・適正に運営するとともに、中堅所得者向け住宅を高齢者向け住宅へ活用することにより、住宅セーフティネットの構築を促進します。また、高齢者民間賃貸住宅入居支援事業により、住み替えが必要な高齢者を支援しています。引き続き、高齢者をはじめ、誰もが住み慣れた地域に住み続けられるよう、住まいに関する必要な支援を行ってまいります。	2
16	I かがやくまち	コンビニは増えているが、商店街で買えたものが買えなくなり、不便になった印象が強い。大きなマンションをつくる際には、マンション内に飲食店や商店などを入れるようにできないか。	区民説明会(芝)	芝地区総合支所 街づくり支援部	まちづくり課 住宅課	区では、地域の実情を踏まえた暮らしやすく良好な住環境を整備するため、一定規模以上の開発事業について、定住性の高い住宅やスーパーなどの生活に便利な施設の設置等について開発事業者に協力を要請しています。	2
17	II にぎわうまち	開発が進むなど、新しい住民が増加するが、町会に加入するとともに、町内活動に参加するように呼び掛けてほしい。また、町内には三田春日神社があり、新しい住民も祭りの運営に協力してほしい。	区民説明会(芝)	芝地区総合支所 産業・地域振興支援部	協働推進課 地域振興課	区では、各地区総合支所において、地域情報の可視化につながる情報発信や企業等を含めた様々な活動主体がつながる機会の提供に取り組んでいます。引き続き様々な媒体を活用して情報発信を強化し、活動主体同士のつながりを促進していきます。	3
18	III はぐくむまち	今年前半に生まれた子どもが35万人だと言っていた。港区・芝地区は人口が10%増えるという予測だが、日本は大丈夫か不安になる。未来を担う子どもたちが減っていく中で、港区だけ増えていくというのは、不安を持たざるを得ない。	区民説明会(芝)	芝地区総合支所 子ども家庭支援部	管理課 子ども政策課	令和5年3月の港区人口推計において、今後の年少人口(0~14歳)は、令和16年まで増加し続けると推計しています。引き続き、年少人口の動向を注視しながら、子育て世帯の不安を解消できるような施策を推進してまいります。	2
19	III はぐくむまち	ご近所イノベーション学校の修生だが、幅広い年代の方と触れ合う機会を得ることができた。計画書のP64はぐくむまちの指標、「生活の面で困った時、近隣の友人や町会・自治会の人に相談できる」と回答した人の割合について、下方修正ではなく、せめて現状維持にして、地域コミュニティの育成に注力してはどうか。	区民説明会(芝)	芝地区総合支所	協働推進課	コロナ禍において地域活動が制限されたことが、地域コミュニティに大きな影響を与えたと考えています。令和4年度の実績値が、令和元年度の数字を大きく下回ったことから、令和8年度の目標値は、令和元年度の実績値と同じ数字に下方修正しました。まずは令和元年度の水準に戻すことを目標とし、更に数字を積み増しできるように、しっかりと地域活動を支援してまいります。	2
20	地区版計画書全体	改定後の後期3か年に配分された支所の地域事業予算について、前期3か年と比較して事業費に変化はあるのか。	区民参画組織(芝)	芝地区総合支所	協働推進課	地域事業の予算については港区基本計画 芝地区総合支所(素案)のP14に記載しており、前期3か年と比較して約12%増えています。	2
21	I かがやくまち II にぎわうまち	住み続けるための港区になるためにどういう支援が必要なのか。高齢者の講座は色々やっているが世代間交流ができる事業はあるのか。ギリギリのセーフティネットが少し弱いと思う。	区民参画組織(芝)	芝地区総合支所	協働推進課	区では、区民が住みつけられるように、区民住宅の紹介や、高齢者民間賃貸住宅入居支援事業などに取組んでおります。地権者や借家人の生活再建への支援は事業者が行うものであることから、区は開発指導課を中心に事業者を指導しています。なお、芝地区総合支所では、芝BeeBee'sプロジェクトなど、世代間交流ができる事業を実施しておりますので、高齢者の方々にも積極的に参加していただきたいと考えております。	3

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方等	対応状況
				部	課		
22	II にぎわうまち	P59の地域事業のこれまでの予算は300万円だったが249万円になった。次のページの竹芝プロジェクトとどう違うのか。 P60の地域事業に記されている区民参画組織とは具体的にどのことを言っているのか。	区民参画組織（芝）	芝地区総合支所	管理課 協働推進課	昨年度の提言を踏まえて、事業費は精査いたしました。多様性を学ぶまち ～SHIBA～は、多様性という視点で、竹芝だけに限らず事業展開をしていきたいと考えております。竹芝プロジェクトには区民参画組織である地域コミュニティ部会に参加していただき、竹芝エリアの賑わい創出に向けて活動してまいります。	2
23	III はぐくむまち	P64はぐくむまちの成果指標「生活の面で困った時、近隣の友人や町会・自治会の人に相談できる」と回答した人の割合が未達成。計画目標値を下方修正されたが、普段暮らしている周りに知っている人がいないという点が根っこの問題なのではないか。そこに働きかけることがこの計画の狙いなのではないか。ソフト事業にももう少し比重をかけていくべきではないか。	区民参画組織（芝）	芝地区総合支所	協働推進課	コロナ禍で地域コミュニティは大きな影響を受けましたが、コロナが5類へ移行し、地域にはぎわいを取り戻しつつあります。目標値を下方修正した理由は、令和元年度と比べて大きく数値が下がり、計画目標の達成が難しいと判断したためであり、令和元年度の数字を目標値としました。ソフト面では、地域事業以外でも、利用が多かった町会向けの補助金を活用するなど、地域を強力にバックアップしてまいります。	3
24	地区版計画書全体	地域事業の妥当性の判断をどうされているのか。P12の改定の基本的な考え方やP27の人口想定は客観的なところから、こういうまちづくりをしたいとなっているが、そのロジックで真ん中が抜けているのではないのか。事業者数が多いと言いながら地域事業で触れているのはBCPくらい。議論のテーブルを広げていくべきではないか。P27の人口はしっかり書いた方が良い。具体的にどの層が増えているのかを記載しないと客観的な資料としては厳しいと思う。	区民参画組織（芝）	芝地区総合支所	協働推進課	地域事業の妥当性は、地区版計画書に記載されている「地区版計画書改定の基本的考え方」等に則り判断しており、前期3か年・後期3か年の計画の連続性も考慮しました。芝地区で実施しているクリーンキャンペーンでは、多くの事業者が参加しており、令和5年末で427団体の参加実績を見込んでいます。事業者へのヒアリングを通じ他の地域事業との連携について検討しております。また、地域事業「トレジャー☆スクール ～芝体験学習～」では、区内の事業者から学習プログラムを提供していただいております。色んな企業との関係性ができつつあります。こうした取り組みを発展させていきたいと考えております。人口推計については、細かなデータは適切に把握していますが、計画書には概要を記載しております。計画書には記載しておりませんが、地域事業を実施する際に参考にしてまいります。	3
25	地区版計画書全体	全ての事業において宣伝や認知が足りないという結果が出ていた。Xや情報誌等に出すだけでなく、例えばエコ芝とBeeBee's等、横のつながりを生かした情報発信が必要なのでは。	区民参画組織（芝）	芝地区総合支所	協働推進課	芝地区のSNSはフォロワー数も順調に増えており、多くの方に情報が届くよう、今後も発信を続けていきます。また、色々なものを繋げていくことが必要との認識は持ってあり、クリーンキャンペーン、エコ芝教室、トレジャー☆スクールなど、親和性の良い事業を結び付けながら、情報を発信していきます。	2
26	その他	提言について、この事業では取り上げていないが別の事業で取り入れたという話をまとめて示していただければ、これからも区のために頑張っていこうと思う。中間段階の指標を設定して攻めると良い。実施段階の工夫をしていただけるとありがたい。	区民参画組織（芝）	芝地区総合支所	協働推進課	色々な事業に関わる指標の設定は難しいものがありますが、芝地区クリーンキャンペーンに参加している事業者数は順調に増加し、令和5年末で427団体の参加実績を見込んでいます。参加事業者数は、芝地区の地域・企業活動の活発化を示す指標になると考えており、着目しながら色々なものに結び付けたいと考えております。	3